

**深井総研**

**世界に新たなエネルギー革命を！  
燃料になる「創生フューエルウォーター」**

(長野)



SFW生成器

**水**

と油。性質が合  
わずに相容れない関  
係を表し、古くから諺とし  
ても使われてきた二つの物  
質が遂に融合した。極めて  
繊細な精密機械であるエン  
ジンに水を注入しても止ま  
ることなく動き続けたのだ。

この衝撃の事実を生み出  
した画期的な水こそが「創  
生フューエルウォーター」  
(以下、SFW)。開発したの  
は、長野県上田市に本社を  
構える深井総研株式会社  
の深井利春社長である。

「現代社会でクロージアッ  
プされている環境・エネル



深井 利春 社長

ギー、健康に共通するキー  
ワードは「水」。始めた当時  
は夢物語でしたが、「水と油  
は混ざる」と信じて研究を  
続けて来ました(深井社長)  
元素記号「H」が示すよ  
うに、宇宙で初めて生まれ  
たと考えられている元素が  
水素。この世に存在するあ  
らゆるものの根源が水素だ  
と考える深井社長は、分子  
状態にある水素(H<sub>2</sub>)ではな  
く、単原子で存在する原子  
状態の水素(H)に着目した。  
いわゆる「活性水素」だ。

だがエンジン。わずかな  
不純物が混入しただけでも  
不完全燃焼し、まして水が  
内部に入れば壊れて動か  
なくなり、大量の二酸化炭素  
を発生させる危険もある。  
それでも実験にエンジン  
を使うことが、原子状水素  
の存在だけでなく、SFWの  
エネルギーとしての実用性  
を示す上で大切だったのだ。  
そして、結果は出た。

原子状水素  
を多量に含む「活性水素水」  
であることを見事に証明し  
た。ホームページなどを介  
して実験動画や検証デー  
タも公開。固定カメラで撮  
影したワンショットの動画に  
は、透明な容器を通してS  
FWがエンジンに入っている  
様子がはつきりと映し出  
されている。

このような結果から油と  
混ぜて「燃料になる水」  
と評価され、石油やガスな  
どの化石燃料と融和してエ  
ネルギーの相乗効果をもた  
らす新燃料技術としてエネ  
ルギー業界から大きな期待  
を集めるSFW。健康や美  
容への効果効能を高らかに  
謳う水素水商品が巷に溢  
れ、一部の業者が「水を売  
るビジネス」に対するネガ  
ティブなイメージを消費者  
に植え付けている中、その  
発想は同業他社と全く次元  
が異なる。

汚染された環境を元の状態  
にどうやって戻すかを考え  
てきたのです(深井社長)

様々な角度からエンジン  
という「レントゲン」を使  
った実証実験を繰り返し、S  
FWの有用性を次々と示し



SFWで航海を続けるマレーシアの漁船



船上で軽油とSFWを混合する装置



マレーシアの実験プロジェクトに参加したスタッフ

てきた同社。国内では飲食  
店や美容院、クリーニング  
店、そして一般家庭でもS  
FW(創生水)の普及が進む  
ほか、深井社長は精力的に  
実験プロジェクトを立ち上  
げ、いよいよ東南アジアを

中心に実用が始まった。  
マレーシアのクアタラン  
市で、昨年9月からSFW  
を混合した軽油を使い、最  
新式のターボ付きエンジン  
を搭載した船舶(漁船)を航  
行。54.9割(自社調べ)の基  
油削減を達成するとともに  
、10日間にわたる漁を毎  
月2度ずつ行い、一度の漁  
でエンジンは24時間運転し  
続けた。(メインエンジンス  
ペックは「カミンズマリンエ  
ンジンKTA19-M500  
HP、排気量19リットル)。メイ  
ンエンジン1機と巻き上げ機  
1機を搭載し、エンジン回  
転数2000rpmのフルパワ  
ーで引き上げ運用し、現在  
も順調な航海を続けている。

電機(デンヨー社製型番  
DCT4E2SK)では社内運用  
テストで平均56.2割(同  
社調べ)の基油削減運用に  
成功し、1カ月にわたる24  
時間実証確認テストも完了  
済みだ。

「水の本質を追求する中で  
環境のための水」を開発  
しました。決して「病気を  
治すための水」ではありません。  
人間や動物も自然環  
境の一つ。自然の理に従い、

また、今月からタイの石  
油開発公社にも本格導入さ  
れるなど、着実に普及を続  
けるSFW。日本が掲げる  
CO<sub>2</sub>25%削減という目標  
の達成に貢献するとしても  
、全世界が直面している環  
境問題の救世主となるだろ  
う。「車や船を動かすだけ  
でなく、エンジン内部が錆び  
ることなくピカピカな状態を  
保つほど還元力が高いこと  
も大きな特徴です。論より  
証拠。実験結果を詳細にお  
伝えすることで、もはや「水」  
ではなく「エネルギー」で  
あると評価を頂いています」  
と話す深井社長は、今春  
に新たな実証結果を発表す  
る記者会見も検討している。

深井社長を先頭に、実証  
データの積み重ねと独自の  
研究活動によって、同社は  
化学物質を一切使わないエ  
コロジーなエネルギーシス

「大好きな故郷の川が汚れて  
いる光景を目の当たりにし、  
自分は何をすれば良いかを  
考えた時、欲を捨てて『無』  
になろうと決めました。そ  
こから始まって30年、SFW



実験結果も動画で公開  
(QRコードからアクセス)



「エネルギー革命」への夢を共有する同志たち

にかける思いは当時と全く変わっていません」と語る、深井社長が強く影響を受けたのは仏教に信心深かった父の存在だ。水や水素というキーワードに辿りついたきっかけも、神仏や自然に対する尊敬にある。「何事にも陰と陽、プラス

とマイナスがあり、中性は無いということも教えてくれたのが父です。お金を稼ぐためではなく、人を助け、尽くすために無から有を生み出す発明を楽しんでいる父の姿を見てきました。『手を汚して(努力して)お金を稼げ』とよく言われたものです」(深井社長)

自らの原風景を成す千曲川の自然を守るため、SFWの研究に全身全霊を捧げ、環境汚染や原発をはじめとするエネルギー問題に真正面から向き合ってきた深井社長。「水が変われば全てを解決できる」という強い確信を、ただアンチテーゼを唱えるだけでなく自らの行動で伝えてきた。

「どうしても人間は経済を優先してしまう。今でこそ普及している自然農法も20〜30年前は存在せず、農業を使って作業を効率化することが当たり前でした。しかし、それが本来共生すべき自然環境を破壊してきたのです。『良くないこと』とわかっていても、頭ごなしに否定するだけでは何も変わりません。究極の反対」とは、それに代わるアイデア

アや技術を自分で生み出すことなのです」(深井社長)

### 夢を共有する仲間と共に 信州上田から世界に挑戦

深井社長は、数々の実験を成功させることが出来た大きな要因に従業員の存在を挙げる。同じ夢を共有する仲間が「同志」として集まるのが企業の成長と社会貢献に欠かせないと話す。「頂点に立つ経営者の夢を自分の夢として共有し、追い求めることができる人材こそが重要です。私もスタッフの一人であり、アイデアを出すことが役目。行動して具現化するのには社員です。同じ価値観と夢を持つ共同体でなければ成功に近づくことはできません」

実際、深井社長は人材採用の面接時にはSFWの資料を見せ、まず考えを聞かせる。そして、「同じ夢を持ち、人生を掛けられるかどうかを確かめる」お見合い」を通

じてお互いの理解を確認することが大切だと言った。

11年から東京福祉大学大学院の特任教授に就任し、「諦めなければ夢は必ず叶う」と若者にメッセージを送る深井社長が抱く最大の夢。それは、SFWを導入した水素ロケットを打ち上げること。長きにわたって抱き続ける故郷への思いと情熱、尽きない夢が研究開発をさらに前進させる。

今年4月に始まる電力小売自由化によって大きく変わるエネルギー市場の中で、水素エネルギーに対する期待も大きく膨らむ。同社は「日本一の兵」として名高い真田幸村の如く、信州上田の地からエネルギー革命を起し、世界に向けて大きな戦いを挑む。(谷)



深井社長の著書  
「洗剤が消える日」(ダイヤモンド社)  
料を見せ、まず考えを聞かせる。そして、「同じ夢を持ち、人生を掛けられるかどうかを確かめる」お見合い」を通

【会社データ】  
本社 長野県上田市秋和  
2011-2  
TEL 0268-27-3750  
設立 2007年7月  
事業内容 新エネルギーの研究開発など  
<http://www.fukaisouken.jp>